

## パッティング美容法の有効性

パッティング美容法をスキンケアと併せて行い、肌の変化を検証しました。その結果、パッティングを行うことで水分量をより増加させることが確認されました。このことから、パッティング美容法を行うことで、スキンケアによる保湿効果が高まることが示されました。

### 試験概要

#### 試験 パッティングあり・なしによる水分量の比較

試験部位：左右の手の甲 被験者：19名 [ パッティングあり (n=19)  
なじませる群 (n=9)  
無塗布群 (n=10) ]

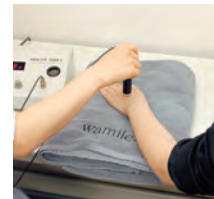
試験期間：4週間

方法：

朝と夜の1日2回、クリームおよびローションを適量塗布後、パッティングを行った。もう片方の手は、なじませる群ではパッティングはせず、クリームおよびローションを手でなじませた。また、無塗布群では何も塗布しなかった。

測定項目：水分計 (SKICON-200EX)

測定回数：初回塗布前、2週間後、4週間後の3回



#### 水分量の評価

水分計により皮膚角層中の水分量を測定。

### 【結果】

水分計を用いて、手の甲の中心から2.5cm四方を測定しました。

初回から4週間後にかけてパッティングを行った手では、水分量が有意に増加しました ( $p < 0.005$ ) (図1)。また、無塗布と比べると、なじませただけのスキンケアを行った手の方が水分量の増加が見られましたが、さらにパッティングを行った方がより高い効果が確認できました (図2)。

図1: 水分量測定値の推移

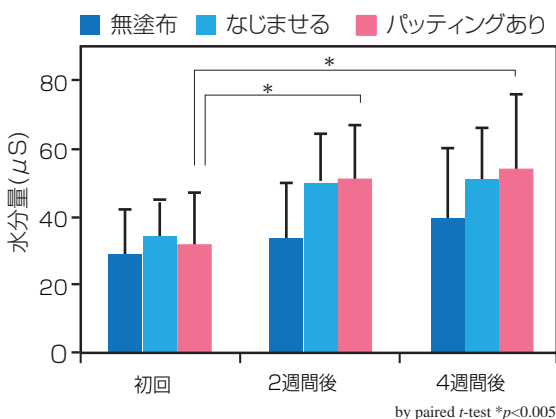
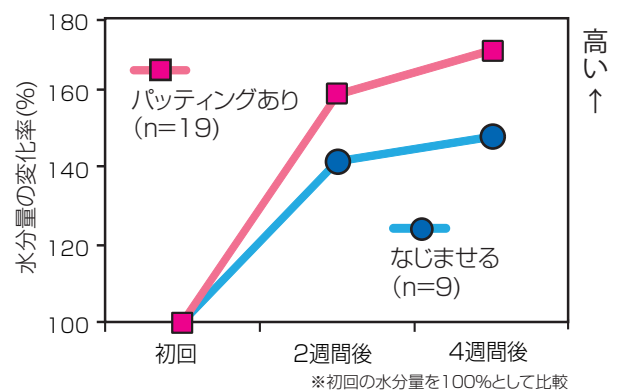


図2: パッティングあり、なしによる水分量の変化量の比較



### 総括

以上の結果から、なじませただけのスキンケアを行った手よりも、パッティングを行った手の方が水分量の増加が確認されました。このことから、パッティング美容法を行うことで、スキンケアによる保湿効果が高まることが示されました。